

# 令和5年度 第2回北海道後志地域公共交通活性化協議会

## 会議録（要旨）

### 1 概要

- (1) 開催日時 : 令和6年3月22日(金) 14:30 ~ 15:20
- (2) 開催場所 : 北海道後志総合振興局3階1号会議室及びオンライン(DOWKAI)
- (3) 議 事 :
  - ア 開 会
  - イ 議 題
    - (ア) 委員の変更について【報告第1号】
    - (イ) 令和5年度の各施策・事業の実施状況及び令和6年度の予定について【報告第2号】
    - (ウ) 北海道後志地域公共交通計画の改定について【議案第1号】
    - (エ) 今後の法定協議会及び地域協議会事務の取扱について【議案第2号】
  - エ その他
  - オ 閉 会

### 2 配布資料

- (1) 令和5年度第2回北海道後志地域公共交通活性化協議会議案書
- (2) 【参考資料】北海道後志地域公共交通計画推進管理表
- (3) 地域交通法改正に伴う道路運送法の改正概要（北海道運輸局札幌運輸支局からの情報提供）

### 3 議事内容

事務局より、議題（ア）及び（イ）について報告。議案事項である（ウ）及び（エ）については説明のうえ、委員に承認された。

### 4 その他

#### 【全体を通し質問・意見等】

(札幌学院大学) :

報告及び議案に関しての意見ではないが、前回の協議会でも申し上げたとおり、バス・タクシー運転手不足の問題が深刻化している。

女性や、高齢でもまだ働ける方に対し、具体的な施策を考えていかなければならない。例えば、大型バスの運転にはハードルを感じる高齢の方も、小型の地域コミュニティバス等を運転してもらうなど、人材確保に早急に取り組む必要がある。

資料の中にあった小樽市でのPR動画作成の取組等、運転手という仕事のPRとして非常に有用と考える。こうした動画の活用等で、地域の高校生ら若い世代へバス・タクシー運転手の魅力を伝える取組が増えてほしい。

また、オホーツクの美幌町では、バスの運転業務を担う地域おこし協力隊を2名募集しているように、地域おこし協力隊を活用する試みも考えられる。

今冬においては、従来より問題視されてきたニセコエリアに加え、小樽でも市民が公共交通を利用できない事例が増える等、観光公害が顕在化した。

今後、後志に新幹線も延伸されることも鑑み、観光公害の問題と合わせた協議も必要になってくるであろう。インバウンドの方々が、今まで利用がそれほどなかった路線に大量に流入することも考えられる。

(事務局) :

御意見いただいた、深刻化する運転手不足への対応で、各バス事業者が大変苦慮をされているのは把握しているところ。

昨年、各市町村の皆様や事業者各社に御協力いただき、後志管内で初めて「バス運転手合同就職説明会」を開催したが、今後は御意見のとおり、北海道教育委員会等と連携するなどし、高校生等若い世代への運転手の魅力発信を強化してまいりたい。

観光公害についても、後志は多くの観光地を抱えるエリアであることから、協議会委員の皆様のお力を借りながら、対応してまいりたい。

#### 【情報提供】

北海道運輸局札幌運輸支局から配付資料（3）について説明した。

#### 【今後の予定】

事務局から、今後の予定を説明した。

- (1) 次回協議会開催は、来年度6月ころを予定。
- (2) 今後も計画期間の令和8年度まで、毎年度目標達成状況を把握するため、指標値を設定し、継続的にモニタリングを行うので、委員の皆様には協力をお願いする。

以 上